

## 第3章 調査対象機関の概要

### 1. 北京大学

設立年：1898年

設置目的：北京大学は「京師大学堂」の名称によって、清政府の最高学府・最高教育行政機構として設立された。

沿革：「京師大学堂」は、清政府の敗北によって、1912年5月に北京大学に改名し、著名な思想家・教育家の嚴復が初代学長に就任した。1918年の蔡元培学長の任期中、全学には、14の系が設置され、学部生は1980人、大学院生は148人、教職員は217人、教授は90人であり、教職員対学生比は1:9であった。中日戦争が勃発した1937年9月に長沙に移転し、清華大学、南開大学と共同して「長沙臨時大学」を設立し、1938年に昆明で「国立西南連合大学」に結成した。戦争直後の1946年10月に北平「現在の北京」に復校し、文、理、法、医、工、農の6つの学院、33の系と1つの文科研究所が設置された。在学者規模は3420人であった。

1952年、ソ連モデルの導入による全国大学の院系調整において、清華大学と燕京大学の文理学院が北京大学に合併し、基礎理論研究と教育を重視する文理総合大学になり、全学には12の系、33の専攻および中国革命史研究室、マルクス主義研究室、医学予科、華僑学生と留学生コース等が設けられた。1962年には、10671人の学部生、280人の大学院生が在学していた。

1966-1976年の文化大革命期において、正常な教育研究がやめさせられ、1976の「文化大革命」の後、学科、専攻の調整がおこなわれ、基礎学科の発展に加えて、国家経済建設、ハイテク技術の開発にも力をいれた。現在は文理総合大学から、自然科学、技術科学、人文科学、社会科学、管理科学、教育科学などをもつ総合大学となった。以下は1993年現在の北京大学の基礎データである。

資産：機器設備などの固定資産は2.3億元、キャンパスの敷地面積は170万平方メートル、建築面積は82万平方メートルがある。

施設：全学に108の実験室、5の国家重点実験室、6の建設中の国家重点実験室、建築面積が2500平方メートルとなる中国では最も大きい大学図書館と1万平方メートルのメディア教育センターを有している。

在学者：17136人、そのうち

4年制の本科在学者は6774人、

3年制の専科在学者は752人、

修士課程の在学者は2511人、

博士課程の在学者は650人、

外国人留学生は680人、

研修生・夜間部・通信制在学者（成人学生）は5769人である。

北京大学の入学者は中国23の省、5つの自治区、3つの直轄市から募集され、1977-1992年の理科、文科、外国言語文学科別の新入生数は表3-1のとおりである。1992年においては、学生の専攻の構成は理科系54%、文化系36%、外国語系9%となり、新入生の中に、高校卒業生は95%を占め、男女の比重は5：2である。なお農業戸籍は20%、少数民族は6%となっている。

表3-1 北京大学の本、専科学生募集計画統計表（1977～1992）

科 目	理 科			文 科			外国言語文学科		
年 度	合 計	本 科	専 科	合 計	本 科	専 科	合 計	本 科	専 科
1977	421	421		561	561		131	131	
1978	1,277	1,249	28	584	550	34	47	47	
1979	1,204	1,204		648	648		127	127	
1980	1,190	1,190		769	769		141	141	
1981	1,206	1,206		705	705		135	135	
1982	1,386	1,386		697	697		152	152	
1983	1,485	1,451	34	852	811	41	167	167	
1984	1,499	1,398	101	755	755		164	164	
1985	1,258	1,258		648	648		152	152	
1986	1,235	1,235		711	711		165	165	
1987	1,356	1,324	32	699	673	26	172	172	
1988	1,344	1,344		824	824		170	170	
1989	496	496		166	166		87	87	
1990	812	812		579	579		144	144	
1991	1,125	1,034	91	700	610	90	171	171	
1992	1,161	1,041	120	766	648	118	191	170	21

卒業生：1992年、卒業生の70%が「国家統一職場配置計画」によって職場配置が行われた。その就職先は表3-2に示されているように、地域的には半数は北京に職をもち、半数は地方で職につく。進路内容別では、22%は大学院へ進学、中央政府機関には29%、北京地区には33%、自費留学として海外に赴く者は5%となっている。

表3-2 1985～1992年北京大学の本・専科卒業生進学・就業状況

年	総数	大学院 進学者	就業者	就業者の勤務先内訳		就業者の地域別内訳		自 留 人	費 学 数
				中央官庁	地方官庁	北 京	北京以外		
1985	2,034	1,096	878	498	380				
1986	2,274	921	1,252	801	549				
1987	2,378	938	1,435	844	591				
1988	2,160	787	1,373	627	713				
1989	2,026 (専科生) 58	471	1,498	618	880	750	748		52
1990	2,010	506	1,501	467	1,034	689	812		131
1991	2,083 (国家教委内定)74	491	1,446	496	950	657	789		146
1992	2,121 (自費生) 116	472	1,415	604	811	708	707		113

教職員：全学の専任教員数は2224人、

教授は561人、副教授は811人、講師は554人、教員は31人、助手は267人である。

教授の中に、中国科学院院士29人、博士指導教官334人、国务院学位委员会学科评议组メンバー34人、国家级专门家26人、教員の中に、博士学位取得者は18%、修士学位取得者は35%である。

系・専攻：1993年現在、全学には5つの学院と29の系、39の研究所、43の研究センターがある。4年制の本科課程では85の専攻コース、3年制の専科課程では10の専攻コース、修士課程では146の専攻コース、博士課程は97の専攻コースがある。なお13の学科の67の専攻にポストドクトラルプログラムが設けられており、大学院と成人教育学院は独立の行政単位として運営されている。

学系内訳：

理工科系：数学系、概率統計系、力学系、物理学系、地球物理学系、技術物理学系、無線電電学系、計算機科学技術系、化学系、生物学系、地質学系、城市と環境学系、心理学系。

人文科学系：中国言語文学系、歴史学系、考古学系、哲学系、東方言語文学系、西方言語文学系、ロシア言語文学系、英語言語文学系。

社会科学系：国際政治学系、政治学・行政管理学系、経済学系、国際経済学系、経済管理学系、法律学系、社会学系。

その他：図書館学・情報学系。

組織管理：行政管理は行政機構図に示されているように学長は最高責任者であり、その下

各系、研究所、研究センター、図書館、出版社、職工学校、付属小・中学校、大学地区の町内会は学長の直轄下にある。

[illegible]

卒業要件：160-180の単位取得が卒業条件である、単位を取得すれば、早めに卒業することができる。教育科目の中に、必須科目は70%、選択科目は30%となっている。

入学点数：入学者の最高と最低得点は表3-3に示されているように、1988年では、最高点は平均得点より66点高く、最低点数より166点高い。その開きの度合いは1992年においても同じ趨勢となっている。

表3-3 1988～1992年 新入生入試成績表

年	理 科			文 科			外国言語文学科		
	最高得点	最低得点	平均点	最高得点	最低得点	平均点	最高得点	最低得点	平均点
1988	640	474	574	580	450	526.2	580	466	523.6
1989	643	511	580.4	583	481	539.6	571	463	531.5
1990	645	421	569.6	552	419	491.4	540	460	491.9
1991	641	482	591.6	568	468	517	563	400	513
1992	653	501	589	565	430	508	562	437	506

卒業者の学位：学士、修士、博士。

蔵書：図書430万冊、中国語、外国語の国内国外各種新聞雑誌7000種類を所蔵。

刊行物：1982年以降、理科系では、454冊の学術専門書、12738本の論文、文科系では1980年以後、学術専門書は2658部、学術論文は10511本が発表された。学術刊行物は『北京大学学報』（自然科学版）、『北京大学学報』（哲学社会科学版）、『物理化学学報』、『数学進展』、『大学化学』、『中外法学』、『経済科学』、『国外文学』、『高等教育論壇』（内部刊行物）などの9種類がある。

国際交流：北京大学は25の国と地区の78の大学と提携関係を結んでおり、29名の国際的に著名な学者・知名人に名誉教授の称号を与え、22名の国際的に著名な学者を客員教授として招聘した。1978年-1991年の間に、1300人の教員を半年以上海外研修に派遣し、短期訪問、講演、共同研究、国際会議の出席などで、毎年、海外に600人が出かけている。1983年以来、国際シンポジウムが100回以上開かれた。

大学の産業：大学の産業として40の公司、8つの工場を持ち、約1000人の職員がこれらの公司・工場に勤務している。1993年生産高は10億元を突破し、利潤は1.5億元、大学の各種運営基金として、3700万元が提供された。その中に、方正集团公司の営業高は9億元以上で、利潤は1.3億元、大学には1600万元を寄付し、「研究-開発-生産、セールス、サービス」のシステムが形成された。

参考資料：北京大学学生募集弁公室編 1993、『北大一覧』、藍大出版社。

『今日北大』編写組編 1988、『今日北大』、北京大学出版社。

北京大学学長弁公室編 1991、『北京大学1991画冊』、北京大学出版社。

中華人民共和国国家教育委員会計画建設司編 1994、『中国高等学校大全』、高等教育出版社。

(苑 復傑)

## 2. 北京廣播電視大學

設立年：1960年、1966年閉鎖、1979年復校

教育段階及び名称：高等教育・大專（大学專科）

在学者数：全科生5,024人（うち全脱産59人、半脱産4,965人）、その他9,633人

卒業生数：全科生1,809人（うち全脱産18人、半脱産1,791人）、その他1,742人（1992年）

教職員数：605人（そのうち専任教員190人、他兼任教員338人）（1993年）

学校面積：69,518m<sup>2</sup>

施設数：分校・学習センター59

教育メディア：テレビ、ラジオ

図書と教材：図書約120,415冊、カセット23,754本、ビデオ18,194本

刊行物：『電大学刊』（理工版、文科版、経済版、党政版）『電大英語学刊』

専攻：88年まで42専攻が設置され、その中12専攻が独自に設置（表2）

入学要件：全国成人高等教育統一試験

卒業生の資格：大專

資料出所：『中国高等学校大全』国家教育委員会計画建設司・財務司編 1989

『全国廣播電視大學教育基本情報統計年鑑』1991年度、1992年度

『現代遠距離教育辞典』孫華旭編 遼寧大学出版社 1993

『中国電大教育誌 1979-1988』謝新觀、李福芝主編 中央廣播電視大學出版社 1990

『中国教育統計年鑑』1987、1989

表1 入学者、卒業者、教職員の動向

	入学者	卒業者	教職員（内専任教員）	他兼任教員
1979年	8,270		199（63）	
1980年	6,313		242（24）	
1981年			293（91）	
1982年	7,450	7,600	427（145）	
1983年	10,872	6,464	638（237）	
1984年	6,305		678（245）	
1985年	36,998	7,258	738（257）	
1986年	3,626	8,055	808（283）	
1987年	1,947	4,273	824（313）	
1988年	5,040	21,353	839（333）	
1989年	5,245	3,458	915（273）	599
1990年	4,039	1,420	888（272）	599
1991年	1,786	5,254	667（283）	
1992年	1,997	1,809	605（190）	338
1993年	16,154	1,214	621（191）	414

表2 専攻

熱能動力、自動コントロール、発電と電力システム、用電観察と管理、用電経営、発電工業集中コントロール、機械製造、機械製造工芸と設備、医療機械、電子技術、コンピューター、工業自動化、工業電気自動化、化学工程、建築、都市計画、包装設計、応用文、档案学、秘書、図書館学、経営と管理、工業企業管理、商業企業管理、郷鎮企業管理、流通、財政、財政財務、会計、金融、財務経理、工業経理、工業統計、法律、労働人事管理

（黄丹青）



### 3. 四川聯合大学（四川大学）

設立年：1905年に設立された四川通省師範学堂などの5校の近代的高等教育機関が幾度の改革を経て、1931年に合併され、四川大学としてスタート。1949年の解放後の改革で、他大学の一部の理系と文系を受け入れ、工学・社会学・師範部を分離させ、1956年に文理を中心とした四川大学の形を整える。1993年に成都科学技术大学と合併、四川聯合大学に改名。

在学生数：四川大学（1989年現在）：専科生1,386人、学部生5,151人、修士課程723人、博士課程43人、留学生300人、研修生247人、夜間大学生1,544人、通信学部3,726人

聯合大学（1994年現在）：学部生11,913人、修士課程1,372人、博士課程154人、留学生99人、通信・夜間大学生6,971人、研修生約500人

教職員数：四川大学（1989年現在）：3,622人、そのうち教員と研究者1,700人  
聯合大学（1994年現在）：7,200人、そのうち教員と研究者4,300人

学 科：四川大学：4つの学院、23の系、21の研究所、21の研究教育センター  
聯合大学：14の学院、2つの研究院、40の系、40の研究所、40の教育研究センター、3つのポスト・ドクトラルプログラム（表1、2参照）

施設数：蔵書356万冊の図書館、歴史博物館、分析測量センター、コンピューターセンター、LL教育センター、出版社、工場、実験農場

刊行物：四川大学：『四川大学学報』（自然科学版）『四川大学学報』（哲学社会科学版）『南亜研究季刊』『宗教学研究』『高教研究』『人口と発展』  
聯合大学：10余种

入学要件：全国統一試験

卒業者の資格：大専、学士、修士、博士

資料出所：四川大学パンフレット 1990年

『中国高等学校大全』 国家教育委員会計画建設司・財務司編 1989年、1993年  
『中国高等学校変遷』 季 曉風主編 華東師範大学出版社 1992年  
「新型総合大学—四川聯合大学」 留学生月刊『神州学人』 No52 1994年6月

表1 専攻

哲学、マルクス主義基礎  
 経済学、マクロ経済、国際貿易、工商管理、会計学、市場学、不動産経営、  
 法学、経済法、行政管理学、  
 日本語、英語、ロシア語、  
 中国語中文学、編集学、新聞学、広告学、服装、  
 歴史学、考古学、博物館学、  
 図書館学、情報学、档案学、経済情報管理、  
 数学、応用数学、統計と確率、  
 コンピューターとその応用、プログラム設計、計算数学と応用ソフト、  
 物理学、応用物理学、原子核物理と核技術、無線物理学、  
 電子学と情報システム、微電子技術、光電子技術、通信工程、  
 応用光学、材料物理、金属材料と熱処理、熱加工工程と設備、鍛造、  
 皮革工程、皮革機械設計と製造、  
 自動コントロール、工業電気自動化、機械製造工芸と設備、精密機械、機械設計と製造、  
 流体電動とコントロール、機械電子工程、応用電子技術、工業管理工程、  
 化学、応用化学、材料化学、無機非金属材料、高分子化工、高分子材料、  
 化学工程、化工設備と機械、無機化工、有機化工、精細化工、有色金属冶金、化学繊維、  
 染色、ビニール工程、高分子材料加工機械、  
 生物学、生物化学、微生物学、生物技術、生物化工、分析化学、食品工程、食品機械環  
 境学、生態学、環境工程、環境観測、  
 建築学、都市計画、土建設構造工程、工程力学、工業と住宅建設、給水排水工程、  
 水電工程建築、陸地水文、農業灌水工程、岩土工程、水資源利用、水利水電動力工程、  
 電力システムと自動化、継電技術、電気技術

表2 研究所、研究センター

中国語中文学研究所、法律研究所、歴史研究所、文化研究所、南アジア研究所、宗教研  
 究所、古籍整理研究所、人口研究所、経済研究所、高等教育研究所、国語史研究所、数  
 学研究所、原子力研究所、レーザー物理と化学研究所、新材料研究所、化学研究所、工  
 業自動コントロール研究所、軽化工研究所、農用化工研究所、植物研究所、バイオテ  
 クノロジー研究所、食品と発酵工程研究所、高分子研究所、水利水田科学研究所、化工研  
 究所、力学研究所、電力工程と情報工程研究所、高温高压と電子分子科学研究所、皮革  
 研究所、ビニール工程と機械研究所、紡績高分子研究所、情報と政策研究所、川西化工  
 研究所、原子分子工程研究所、応用物理研究所、応用科学研究所、生産過程コンピュー  
 ターコントロール研究所、工程構造研究所、工程情報技術研究所、リン化工研究所、環  
 境科学と工程研究所、コンピューター工程研究所、複合材料と製品研究所、システムコ  
 ントロール研究所、人—機械工程研究所、電気技術研究所  
 都市研究センター、中国伝統文化研究センター、ロシア・東ヨーロッパ研究センター、  
 欧州共同体研究センター、カナダ・アジア研究センター、欧州経済研究センター、外国  
 中国学研究センター、新材料科学技術研究センター、レーザー技術研究開発センター、  
 産地災害予防保護研究センター、核技術応用研究開発センター、コンピューター応用研  
 究開発センター、環境科学と工程センター、新技術研究院、リン工程研究センター、皮  
 革工程研究センター、バイオ技術研究開発センター  
 高速水力学国家重点実験室、高分子材料工程国家重点実験室

(黄丹青)

#### 4. 四川廣播電視大學

設立年：1979年 2月

教育メディア：ラジオ、テレビ

固定資産：4,281.8万元（1992年）

施設数：分校58、学習センター 150

入学要件：全国成人高等教育統一試験・全国普通高等院校統一試験  
（普通専科クラス）

在学者数：24,563人（1992年）

卒業者数：6,283人（1992年）

教職員数：1,083人。その内専任教員 252人（その他兼任教員 1,450人）

開設科目数：410

主な専攻：

文科系：漢語言文学、新聞学、図書館学、法律、政史、档案学、英語

理工系：機械工程、電気工程、電子工程、計算機工程、土木建築工程、工業・民用建築、  
建築学、都市企画、化学工程、管理工程、製紙、電機実用技術、家庭電器、模  
具設計・製造溶接

経済管理系：工業企業経営管理、商業企業経営管理、物質経済管理、労働経済管理、人事管  
理、金融、財務会計、審計、統計、財政税収、基建財務信用、国際金融、税務  
と財務、医薬企業管理、外向型企業経営管理、対外経済貿易

法政系：党政管理幹部基礎専修科、政史（党政）、法律、劳改劳教管理

師範系：師範英語、政史、農業中学（生物含む）

農科系：農学

卒業者の資格：大專

付表：入学者、卒業者、教職員の動向

	入学者	卒業者	教職員	その内専任教師	その他兼任教師
1979年	13,860		62	13	
1980年	5,448		84	19	
1981年			97	30	
1982年	21,721	10,500	141	60	
1983年	19,009	3,937	262	112	
1984年	15,048		385	162	
1985年	28,274	14,277	573	228	
1986年	13,547	21,510	613	232	
1987年	8,593	11,456	692	255	
1988年	11,903	17,908	973	375	
1989年	12,387	8,375	1,027	338	2,577
1990年	12,621	9,768	1,059	323	3,253
1991年	6,616	9,116	1,035	276	1,880
1992年	12,445	6,283	1,083	252	1,450
1993年	13,308	6,191	1,069	238	1,116

特 徴：学生数から見て一番大規模な電大であるのに対して、専任教員数と固定資産額が少なく、条件的に恵まれていない電大といってもよい。

資料出所：李福芝主編、『中国電大教育誌』（1979－1988）、中央広播電視大学出版社、1990年  
 中央広播電視大学『全国広播電視大学教育基本情況統計年鑑』（1991年）（1992－1993）、（1993年）中央広播電視大学出版社  
 中華人民共和国国家教育委員会計画建設司編、『中国教育統計年鑑1989』、人民教育出版社、1990年  
 中華人民共和国国家教育委員会計画建設司編、『中国教育統計年鑑1990』、人民教育出版社、1991年  
 四川省広播電視大学弁公室『四川省広播電視大学画冊』

（黄 梅英）

## 5. 南京大学

設立年：1902年

沿革：南京大学は「三江師範学堂」を主たる機関として発足し、1905年に両江師範学堂、1915年に南京高等師範学校、1920年に東南大学、1927年に国立第四中山大学、1928年2月に江蘇大学、1928年5月に国立中央大学などの名称変更を経て、1948年に国立南京大学になり、1950年に南京大学となった。1952年大学の院系調整によって、南京大学と金陵大学の文理学院が合併され、13の系、490人の教職員、253人の教師、36名の教授と1000人の在学者の規模をもつ大学となった。

敷地建築面積：キャンパスの敷地面積は104万平方メートル、建築面積は48万平方メートルである。

施設：全学に97の実験室、そのうち、国家重点実験室は7つ、建設中の専門実験室は3つ、300人を収容できるLL会議ホールがある。

系・専攻：1990年現在、全学には26の系、36の研究所・研究室、13の研究センター、4年制の本科の専攻は62コース、修士専攻は74コース、博士専攻は38コースがあり、さらに、大学院と成人教育学院がある。

学系内訳：

理工科系：数学系、天文学系、物理学系、情報物理学系、計算機科学系、化学系、生物学系、環境科学系、地球科学系、大地海洋科学系、大気科学系。

医学系：基礎医学系、臨床医学系。

人文科学系：中国言語文学系、歴史学系、哲学系、外国言語文学系。

社会科学系：政治学系、法律学系、経済学系、国際貿易系、国際企業管理系、経済政策決定管理系、社会学系。

その他：文献・情報学系。

在学者：在学者は13756人であり、その内

4年制の本科在学生は6630人、

3年制の専科在学者は1438人、

修士課程の在学者は1235人

博士課程の在学者は442人、

外国人留学生は211人、

研修生・夜間部・通信部（成人学生）在学者は3800人である。

教職員：全学の専任教師は2251人、そのうち教授は276人、副教授は867人、講師は761人、助手は347人である。中国科学院院士は8人、博士指導教官・副指導教官は130人である。

卒業者：40年間に、南京大学は2742人の大学院生、4万人の本・専科学生を養成した。

卒業者の学位：学士、修士、博士。

蔵書：図書325万冊。

刊行物：1978年以降、文科系では、学術専門書・訳書は3600部、学術論文は10511本が発表された。自然科学では48項の研究成果が全国科学大会賞を受賞し、400項の研究成果が省レベルの賞をうけた。学術刊行物は『南京大学学報』（自然科学版）、『南京大学学報』（哲学社会科学版）、『当代外国文学』、『無機化学学報』、『計算数学学報』、『物理学進展』、『高等教育研究と探索』、『宗教』、『経済と管理科学』などがある。

国際交流：南京大学は10カ国及び地区の60校の大学と研究機関と提携関係を結んでおり、1978年－1990年の間に、1000人の教員を半年以上海外研修に派遣し、400人が短期訪問、講演、共同研究及び国際会議に出席した。国際シンポジウムが20回開かれた。

参考資料：人民画報社編 1990、『南京大学』画冊、中国画報出版公司。

季嘯風・王顕明・徐敦漢編 1990、『中国高等学校変遷』、華東師範大学出版社。

中華人民共和国国家教育委員会計画建設司編 1994、『中国高等学校大全』、高等教育出版社。

（苑 復傑）

## 6. 江蘇廣播電視大學

設立年：1979年2月

設置目的：高等専科教育の学歴教育を行うことが主な目的にすると同時に、高等教育独学試験および社会各業界の技術教育・職務トレーニング・継続教育に授業サービスを提供する。

教育メディア：ラジオ、テレビ、印刷物、及び他の視聴教材

固定資産：14,667.6万元（1992年）

施設数：市電大11校、分校・学習センター 101

入学要件：全国成人高等教育統一試験・全国普通高等院校統一試験（普通専科クラス）

在学者数：16,521人（1992年）

卒業者数：5,188人（1992年）

教職員数：3,590人。その内専任教員 1,985人（その他兼任教員 333人）

開設科目数：70（専攻数）

主な専攻：

工学系：機械工程、電気工程、化学工程、土木建築工程

経済管理系：経営管理、（工業企業管理、商業企業管理、労働経済管理、人事管理、物質管理、郷鎮企業管理、対外貿易経済、外向型企業経営管理）、会計審計、財政税収、金融、統計

文科系：漢語言文学、法律、図書館学、档案学、行政管理

外語系：師範英語、外貿英語、観光英語

卒業者の資格：大專

付表：入学者、卒業者、教職員の動向

	入学者	卒業者	教職員	その内専任教員	その他兼任教員
1979年	10,231		1,032	256	
1980年	9,633		1,021	512	
1981年			1,085	559	
1982年	13,273	8,854	1,519	844	
1983年	16,667	8,599	1,807	911	
1984年	20,344		2,633	1,416	
1985年	38,215	12,610	3,247	1,700	
1986年	14,152	22,345	3,570	1,664	
1987年	8,869	16,319	3,643	1,590	
1988年	11,893	20,639	4,519	2,301	
1989年	6,860	4,977	1,910	762	55
1990年	5,282	6,022	1,693	605	70
1991年	6,025	8,108	3,560	1,551	237
1992年	7,369	5,188	3,590	1,653	333
1993年	10,728	5,068	4,226	2,005	392

特 徴：江蘇省は郷鎮企業を振興している地域であり、特に、外国企業の下請け産業を  
 主な業務とする郷鎮企業が多く存在している。その特性に合わせて、中央電大  
 で統一的開設された専攻以外に、郷鎮企業関係・対外貿易関係専攻を独自に設  
 置している。

資料出所：謝新観・李福芝主編、1990、『中国電大教育誌』（1979—1988）、中央広播電視  
 大学出版社

中央広播電視大学『全国広播電視大学教育基本情況統計年鑑』（1991年）（1992  
 —1993）、（1993年）中央広播電視大学出版社

中華人民共和国国家教育委員会計画建設司編、1990、『中国教育統計年鑑1989』、  
 人民教育出版社

中華人民共和国国家教育委員会計画建設司編、1991『中国教育統計年鑑1990』、  
 人民教育出版社

江蘇省広播電視大学弁公室『江蘇省広播電視大学画冊』

（黄 梅英）



## 7. 復旦大学

設立年：1905年

沿革：復旦大学は「復旦公学」の名称で創立され、1917年に私立復旦大学に名称変更し、文、理、商三学科を創設した。1937年、中日戦争中、重慶に移転し、1941年に国立大学となり、1946年上海に復校した。1952年の院系調整によって、文理科総合大学となった。現在、自然科学、技術科学、人文科学、社会科学、管理科学などによって構成されている総合大学である。

敷地建築面積：キャンパスの敷地面積は92.4万平方メートル、建築面積は59万平方メートル。

施設：全学に75の実験室、29の研究所、9つの研究センターが設置されている。

在学者：14381人（1993年）、その内

4年制の本科在学者は5445人

3年制の専科在学者は957人、

修士課程の在学者は1563人、

博士課程の在学者は352人、

外国人留学生は340人。

研修生・夜間部・通信制在学者（成人学生）は5724人である。

卒業者：1992年まで315人に博士学位、3109人に修士学位を授与した。1989年まで、41000人の卒業者を養成した。

教職員：全学の専任教員は2177人、教授は303人、副教授は644人、講師は863人、助手は367人である。そのうち、中国科学院院士は10人であり、博士指導教官は105人である。

系・専攻：1991年現在、全学には6つの学院、34の系、27の研究所、9の研究センターがある。なお4つのポストドクトラルプログラムが設けられ、大学院と成人教育学院、国際文化交流学院なども設けられている。

学系内訳：

理工科系：数学系、物理学系、物理学二系、化学系、生物化学系、微生物学と微生物システム工学系、生理学と生物物理学系、遺伝学と遺伝システム工学、電子工学系、計算機科学系、材料科学系、高分子科学系、応用力学系、光源と照明工学系、統計系。

人文科学系：中国言語文学系、外国言語文学系、歴史学系、哲学系。

社会科学系：経済学系、世界経済系、国際金融学系、国際政治学系、法律学系、社会学系。

その他：マスコミ学系、文物と博物館学系、文物保護技術科学系、管理科学系、企業管理系、会計学系、国際企業管理系、財政学系。

卒業者の学位：学士、修士、博士。

蔵書：文科・理科二つの図書館があり、図書数は330万冊、国内国外の新聞雑誌は5000種類がある。

刊行物：学術刊行物は『復旦学報』（自然科学版）、『復旦学報』（社会科学版）、『世界経済』、『現代英語研究』、『歴史地理』、『復旦教育』など7種類がある。

国際交流：復旦大学は17カ国と地区の70の大学と研究機関と提携関係を結んでおり、毎年20名の外国教師を長期滞在の形で、教育・研究に招聘し、200人の学者を短期交流と講演に招く。1992年末まで、1117人の教師を半年以上海外研修に派遣し、1985年以来、国際シンポウムが30回開かれた。

大学の産業：復華実業株式有限公司、復旦爆破新技術開発公司などがある。

参考資料：潘培弟（1993？）『復旦大学』画冊、上海現代科学技術印刷場。

季嘯風、王顕明、徐敦潢 1992、『中国高等学校変遷』、華東師範大学出版社。

中華人民共和国国家教育委員会計画建設司編 1994、『中国高等学校大全』、高等教育出版社。

（苑 復傑）

## 8. 上海広播電視大学

設立年：1960年（1966年停止、1978復活）

教育メディア：ラジオ、テレビ、面接授業、独学、電視教育の独自の放送チャンネルをもっている。

固定資産：4,212.9万元（1992年）

施設数：分校・学習センター 115

入学要件：全国成人高等教育統一試験・全国普通高等院校統一試験  
（普通専科クラス）

在学者数：2,570人（1992年）

卒業者数：575人（1992年）

教職員数：1,228人。その内専任教員498人

開設科目数：200

主な専攻：

中文系：漢語言文学、法律、新聞学、档案学、図書館学、秘書、公共関係学、応用文科  
（文学鑑賞専門科・行政秘書専門科）

経済管理系：工業企業経営管理、工業会計、工業統計、商業企業経営管理、商業会計、財政学、金融、物資経済管理、党政幹部専修科、労働経済管理、人事管理、審計、  
郷鎮企業経営管理、外経外貿、観光管理

機電系：機械工程、郷鎮企業通用機械、電気・電子工程、土木建築工程

医農軽化工系：医学、看護、食品加工、農業

基礎部：物理、化学、数学、管理工程

卒業者の資格：大專

付表：入学者、卒業者、教職員の動向

	入学者	卒業者	教職員	その内専任教員	その他兼任教員
1960年	4,764		5	3	
1962年	311		21	19	
1965年		712	46	23	
1966年	5,218	427	48	23	
1978年	6,532		13	3	
1979年	4,151		30	9	
1980年	1,753		32	11	
1981年			37	14	
1982年	6,375	9,335	53	16	
1983年	7,750	1,746	131	27	
1984年	7,855	131	192	60	
1985年	4,469	3,972	228	69	
1986年	4,037	13,005	250	78	
1987年	1,133	8,067	282	80	
1988年	1,147	9,374	1,242	487	
1989年	969	3,679	275	74	29
1990年	835	909	351	82	
1991年	1,814	2,007	1,712	669	260
1992年	1,233	572	1,228	498	
1993年	4,031	747	1,569	657	501

特 徴：他の電大と比べて、在学生数に対して、専任教員数と固定資産額が大きい。その意味で、条件がいいといってもいい。

資料出所：謝新観・李福芝主編、1990、『中国電大教育誌』（1979—1988）、中央広播電視大学出版社

中央広播電視大学『全国広播電視大学教育基本情況統計年鑑』（1991年）、（1993年）中央広播電視大学出版社

中華人民共和国国家教育委員会計画建設司編、1990、『中国教育統計年鑑1989』、人民教育出版社

上海市広播電視大学弁公室『上海市広播電視大学画冊』

中華人民共和国国家教育委員会計画建設司編、1991年、『中国教育統計年鑑1990』、人民教育出版社

（黄 梅英）

## 9. 遼寧大学

管理部門：遼寧省教育委員会

沿革：遼寧省の重点大学として1958年9月15日、東北財経学院、元瀋陽師範学院そして瀋陽ロシア語専科学校を合併して設立された、遼寧省内唯一の総合大学。

校舎建築面積：22.62万平方メートル

施設設備：26の研究所、60余の実験室、120の研究室

AVセンターにビデオカメラ、ビデオデッキ、テープ編集機器が完備し、校内ケーブルテレビ上演室10室をもち、2千人を収容できる。また衛星受信設備をもち、日本やロシア等の国のテレビ番組を受信可能。

在学者数：11,280人（1993年現在）

（うち、全日制本・専科生6,000余人、通信教育等の学生4,733人、修士課程400余人、博士課程20余人、留学生130人）

卒業者数：5万余人（本科、修士、博士、専科、夜間、通信）

教職員数：教職員2,300余人（1993年現在）

（うち、教授80人、助教授300余人、講師470人、助手253人）

学科・専攻：三つの学院（経済管理学院、成人教育学院、留学生院）

5部類（文、理、工、財経、政法）、9学部、18学科、53専攻（表1）

入学要件：全国統一試験

卒業者の学位：本科、修士、博士など

蔵書：200万冊、外国雑誌200種、外国新聞約40種、外国図書25万冊、省内では第3位、全国千余高等教育機関では第27位。

刊行物：『遼寧大学学報』（哲学社会科学版と自然科学版）、『日本研究』、『人口調査与研究』、『高等教育研究』等の出版物を刊行し、量・質とも高く、大学出版社のなか指折りの存在とされている。

国際交流：外国との学術交流が盛んで、関西大学、富山大学、八幡大学など日本の大学をはじめ、アメリカ、ドイツ、韓国、ロシアなどの国と姉妹校関係を結んでいる。

表1 遼寧大学設置専攻

文 科	中国文学、新聞学、歴史学、档案学、博物館学、哲学、英語、日本語、ロシア語学
理工科	数学、応用数学、計算数学、計算機ソフト、計算機システム構造、物理学、半導体電子学、半導体物理、光学、物理実験技術、化学、有機化学、無機化学、分析化学、生物学、微生物学、環境生物学
財經科	政治経済学、国民経済計画、工業経済、対外貿易経済、計画統計、会計学、国際金融、審計学、国際貿易、保険
政法科	マルクス主義基礎、法律

参考資料：季風、王顯明、徐敦黄『中国高等学校変遷』華東師範大学出版社、1990年  
中華人民共和国国家教育委員会、建設司、財務司編『中国高等学校大全』高等教育出版社、1989年12月、1990年9月、1994年7月  
「遼寧大学簡介」  
「遼寧大学」1993年10月17日

(李 洵)

## 10. 遼寧廣播電視大學

管理部門：遼寧省教育委員会

沿革：1978年11月9日瀋陽市に設置。1982年4月24日遼寧省人民政府の通達より、設立当時の中国廣播電視大學遼寧分校から遼寧廣播電視大學（略称：遼寧電大）に昇格。

設置目的：遼寧省に必要な社会主義建設人材を養成し、遼寧省の近代化に貢献すること。

機構：共産党委員会弁公室、学校弁公室、人事保衛処、教務処、学生募集及び教育工作処、総務処；  
文科系教務部、理工系教務部、経済系教務部；  
編集部、製作センター、遠隔教育研究室、図書館；  
付設廣播電視中專学校、直轄分校、など

校舍建築面積：9.14万平方メートル

固定資産：5,914.5万元

施設数：市電大12校、企業電大2校、直轄分校・工作站8校、県電大分校43校、末端学習クラス464

教育メディア：二つの衛星チャンネル、遼寧省テレビ局、校内のケーブルテレビ及びビデオ機材

在学者数：大專クラス14,888人（うち、5,761人が統一試験で入学した普通專科クラスの学生）、中專学生14,728人、各種単科生・短期講習クラス23,498人（1993年現在）

卒業生数：大專129,283人、大專単科21,000人、中專25,710人、各種短期講座卒業生70万人（1993年までの累積）（表2）

教職員数：教員673人（うち、教授・副教授は105人、講師308人、助手260人）、職員803人（表2）

学科・專攻：4学科、17部類、計121の専門、中專部の24專攻（表1）  
（1992年12月現在）

入学要件：全国成人統一試験

卒業者の学位：大専、中専等

蔵 書：55.6万冊

刊行物：『電大理工』、『電大国語』、『電大経済』、『電大法学』等の補習教材

特 徴：教育プログラムの設置は地域の工業、農業生産を念頭に置いていることが特徴である。この地域は鉄鋼、鉱山、石油など数多くの大手工場が点在する。管理人材から、専門技術者、熟練労働者に至るまで職業教育の必要性はかなり高く、しかも、専門性が強い。こうした需要に対して細かくかつ敏速に対応するため、遼寧電大は必要な専門基礎知識を、企業側は生産に必要な技術を、両方持ち合わせ教育を行なっている。こうした提携によって企業側にとって一定の基礎知識をもつ技術人材を比較的短期間に獲得でき、教育を受ける側にとって単なる職業訓練ではなく、学歴取得もできる。

表1 遼寧電大設置専攻（17類、121専門）

文 科	国語語文学、図書档案、法律、政治歴史、マスコミ
理 工 科	機械、電気、電子、コンピュータ応用、化工軽工業、土木建築
農 業 科	栽培
経済管理科	経営管理、会計審計、統計、財政税収、金融

表2 遼寧電大入学者、卒業生、教員数（人）

年 度	入学者（普通専科班）	卒業生	教 員	兼任教員
1979年	4,349 —	—	84	—
1980年	5,231 (1,537)	—	91	—
1981年	— —	—	117	—
1982年	8,565 ( 394)	2,835	229	—
1983年	19,425 ( 972)	4,341	376	—
1984年	7,489 ( 887)	—	560	—
1985年	11,981 ( 750)	7,123	638	—
1986年	9,311 (1,025)	18,016	760	—
1987年	4,739 (1,468)	6,697	804	—
1988年	5,873 (1,907)	11,394	836	—
1989年	7,279 —	10,159	784	333
1990年	6,520 —	6,931	762	130
1991年	3,954 —	4,498	577	139
1992年	5,072 —	3,875	593	87
1993年	6,597 —	3,119	673	109



データ出所：

謝新觀、李福芝主編『中国電大教育誌』中央廣播電視大学出版社、1990年2月

中華人民共和國国家教育委員会計劃建設司編『中国教育統計年鑑1989』高等教育出版社、1990年9月、『中国教育統計年鑑1990』1991年8月

中央廣播電視大学編『全国廣播電視大学教育基本情況統計年鑑1991』中央廣播電視大学出版社、1992年4月、『全国廣播電視大学教育基本情況統計年鑑1992』1993年5月、『全国廣播電視大学教育基本情況統計年鑑1993』1994年5月

「遼寧廣播電視大学」1983年3月

「遼寧廣播電視大学簡介」1993年

「遼寧廣播電視大学」1993年11月12日

中華人民共和國国家教育委員会、建設司、財務司編『中国高等学校大全』高等教育出版社、1994年

(李 洵)

## 11. 中山大学

設立年：1924年

設置者：設置者は、中国の民主化と近代化の父とも称される孫中山が1924年広東大学として、設立した。その後、創立者である孫中山を記念して1926年に中山大学と改名された。

大学の課題：中国の現代化の達成をめざして、広東地域の高等教育の中心的機能を果たすべく努力をしている。学部学生や成人教育はもとより、博士、碩士（修士）の養成にも積極的に取り組んでいる。

キャンパスの位置と概要：中山大学のキャンパスは、広州市の中心部を流れる最大の河川である珠江の北岸、白雲山のを望む場所に位置している。キャンパスの総面積は約1.3平方キロメートルで、施設の総面積は、50万平方メートルに及んでいる。校内は、亜熱帯の樹木に覆われ、優れた研究教育環境を作り出している。

教員数：教授陣は、1993年現在、総数約1,800人で、うち、教授および副教授が700人、講師が650人、それ以外に約400人の教員が教育に従事している。

在学者数：学生数は、学部学生および2年間の短期課程の学生が6,000人、成人教育の登録者が3,000人、1,000人の研究生が課程修了後も大学に残って博士あるいは博士の学位をめざして研究を行なっている。

入学要件：全国統一試験

卒業生の学位：学士、碩士（修士）、博士

学部構成と教育コース：大学は、1993年現在、8つのカレッジ／スクールと23の学部から構成されている。8つのカレッジ／スクールとは、研究生院（大学院）、嶺南（大学）学院、管理学院（経営学）、地球与環境科学学院、生命科学学院、外語学院、孫文学院、成人教育学院である。

一方、23の学部とは、漢語言文学（中国文学と中国語）、外国語言文学（外国文学と外国語）、歴史学、哲学、経済学、法律学、人類学、社会学、信息管理（図書館・情報科学）、数学、力学（機械工学）、計算機械学（コンピュータ・サイエンス）、物理学、無線電電子学（電子工学）、化学、生物学、地理学、地質学、大気科学（気象学）、政治学与行政学（政治学と行政学）、管理学（経営学）、会計審計（会計学）、旅遊酒店管理（ホテル経営管理学）である。これら

23の学部は、さらに48の専門課程に分かれている。また、これらとは別に、英語と中国語の2つの語学センターが設置されている。

(山中 速人)

## 12. 広東広播電視大学

管理部門：広東省高等教育局

沿革：中国共産党広東省委員会常務会議の決定により、1978年11月15日に設立。1986年と1990年、二回にわたって校舎移転。

設置目的：広東の特徴を活かし、社会及び経済発展のために人材を提供すると共に、労働人口の科学文化の資質を向上させること。

機構：党委弁公室、紀委弁公室；  
学校弁公室、人事処、監察処；  
教務処、文科教学部、理工教学処、財經教学処、計算機センター、教育研究室、  
図書館；  
総務処、教材処、教育培訓処、電教センター、服務総公司；

校舎建築面積：28.2万平方メートル

固定資産：14,334.3万元（92—93年）

施設数：市電大20校、直轄分校14校、県・区電大80校、工作站464

教育メディア：二つの衛星地上センター、遼寧省テレビ局、校内ケーブルテレビ及びビデオ機材

在学者数：入学者数は大専20,485人、中専6,894人、合計27,379人（1993年現在）

卒業者数：大専78,631人、中専8,734人、各種非学歴教育289,000人（1992年現在）  
卒業者現在の責務は県局クラス（科クラス）4,350人、県クラス（処クラス）262人、市クラス（庁クラス）5人、副工場長・副社長1,729人、大学院或いは留学する者は248人（表2）

教職員数：教職員1,950人（うち専任は780人、非常勤は567人；専任教員のなか、教授4人、副教授79人、講師293人、助手280人、教員136人）（表2）

学科・専攻：設置した専門は144（うち本科1、大専理工科系55、農業関係3、経済管理25、文科系27、中等専門課程33）（表1）

入学要件：全国成人統一試験

卒業者の学位：大専、中専等

蔵 書：61.4万冊

刊行物：『広東電大通訊』、『広東電大報』、『電大教学補導』、『遠教通訊』、『広東広播電視大学学報』

特 徴：一部の地方市・県電大の活躍ぶりがかなり印象的である。たとえば南海市、仏山市といった経済発展が著しい地方の電大は既に一定の規模に達しており、施設や資金の面から見れば、広東省電大を越えるほどのものである。南海市は新しい都市計画を行った際、1,200万余元を出資し、南海電大を建てた。新しい校舎には教室、実験室、図書室などの他、学生食堂、寄宿舍まで備えている。その教育対象は、在職の成人というより中学校或いは高校卒業生を中心としている。地域（農村）の人材養成という明確な方針を持っており、ランクは省・市・県（県レベルの市）と三級目の電大にも関わらず独立意識が強く、地域のための高等教育機関を目指している。広東のような経済発展が進んでいる一部の地域では人材の需要性が高まり、地方電大の役割が重要になりつつ、今後新たな展開を見せることであろう。

表1 広東電大設置専攻

工 学 科	機械工学、電子工学、計算機、土木建築、軽工業・化学工業など
文 科	中文、新聞学、档案学、図書館学、法律、税関など
経済管理科	会計、審計、統計、金融、財政税制、物資管理、企業管理、外向型経済等

表2 広東電大入学者、卒業生、教員数（人）

年 度	入学者（普通専科班）	卒業生	教 員	兼任教師
1979年	4,349 —	—	84	—
1980年	5,231 —	—	91	—
1981年	— —	—	117	—
1982年	8,565 —	2,835	229	—
1983年	19,425 ( 40)	4,341	376	—
1984年	7,489 ( 428)	—	560	—
1985年	11,981 ( 83)	7,123	638	—
1986年	9,311 ( 797)	18,016	760	—
1987年	4,739 ( 812)	6,697	804	—
1988年	5,873 (1,154)	11,394	836	—
1989年	4,086 —	4,754	514	332
1990年	6,255 —	4,321	767	1,640
1991年	5,127 —	8,706	781	1,293
1992年	7,425 —	7,715	792	931
1993年	18,708 —	5,038	827	904

データ出所：

謝新観、李福芝主編『中国電大教育誌』中央廣播電視大学出版社、1990年2月  
 中華人民共和国国家教育委員会計劃建設司編『中国教育統計年鑑1989』高等教育出版社、1990年9月、『中国教育統計年鑑1990』1991年8月  
 中央廣播電視大学編『全国廣播電視大学教育基本情况統計年鑑1991』中央廣播電視大学出版社、1992年4月、『全国廣播電視大学教育基本情况統計年鑑1992』1993年5月、  
 『全国廣播電視大学教育基本情况統計年鑑1993』1994年5月  
 「広東廣播電視大学建校十五周年念」1978—1993年  
 校慶十五周年論文專刊「広東廣播電視大学学報」1993年11月  
 中華人民共和国国家教育委員会、建設司、財務司編『中国高等学校大全』高等教育出版社、1994年

（李 洵）